

# インタープリター（自然解説員）になりたい諸君へ！

この文章は、レンジャー（自然解説員）という仕事に憧れている人のために書きました。

## まず第一に、その夢をあきらめるな！

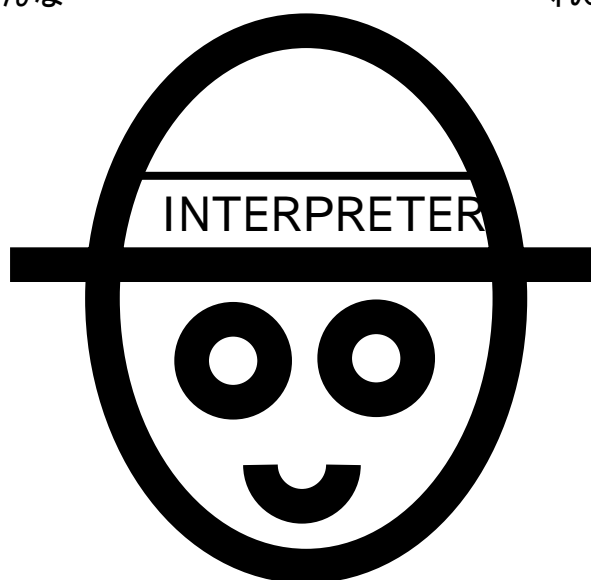
この仕事は、20年前にはなかった仕事だ。

今は順風が吹きつつある。インタープリターも自然解説の仕事と共に、このような仕事が世の中に認められるように努力している。君たちもあきらめるな！そして、次のように自分を磨いてその時を待つのだ！

多様であることを認められるようになるろう。人と違っていたって構わない（気にしない）という感覚も大事だよ。

## どんな勉強をすればいいかって？

バランスがとれた人になることが大切。今インタープリターをしている人がみんなバランスがとれているわけではないけど、大切であることはみんな知っている。かつては生物学や農学、林学などを勉強した人たちがインタープリターになることが多かったけど、最近では（外国ではとうの昔に）演劇やコミュニケーション、心理学、レクリエーション、音楽、美術などを勉強した人がインタープリターになる例だって多くなってきた。インタープリターの仕事は



自然のことを説明するのではなく、それぞれの得意な分野をいかして、ビジター（来訪者）にメッセージを伝える（表現する）ことだということがわかってきたからだ。伝えることも自然のことだけでなく、民俗的なことも、歴史的なこともあるからね。経済、経営などを勉強した人がインタープリターになる例だってある。その人はきっと大学などで勉強のしかたを勉強してきたのだろうね。それもインタープリターの仕事に役立ってわけだ。

## 自然を好きになること

とはいえ、やはり自然が好きなことが大切な条件の一つであることに変わりはない。自然の中に不思議なことや面白いこと、自然が畏敬に値すること、私たちになくてはならないことなどを感じられる感性（センス・オブ・ワンダー）を持つことは必須だよ。自分が感動したり感激したことがないのに、そ

れを人に伝えるのは無理だからね。そういった体験をたくさんすることも忘れないように！

最後に、自分がとっても興味を持って調べたり見つめ続けたりしているものを持つこともとても大切なことだ。難しくいえば「専門」だけど、何か一つでも他人より詳しいと自信になるからね。

## でも本当は、人が好きじゃないといけないんだ

自然は好きだけど、社会の中で人とつきあうのが疲れたとか、人が嫌いだから、という人はインタープリターの第一資格を失ったようなもの。インタープリターの仕事には、「人前で表現すること」や「人と話をすること」、「人と協力してものごとを解決で

きること」など、基本的に人が好きでないとやっていけないところがたくさんある。このこと、学校を卒業して自分で食べていくようになり、本当の意味で自分で生活していくようにならないと分からないかもしれないな。でも覚えていて欲しい。